

改めて考える、葦崎の魅力

内藤 葦崎の魅力と言えば、まずは、景色の素晴らしさ。大村智先生も、「たくさん国へ行ったけれど、葦崎の景色は特段に素晴らしい」とおっしゃっています。富士山の眺望も、良い場所がいっぱいありますよね。最近、『にらさき富嶽三十六景』を選定したのですが、市民の皆さんにおすすめの場所を推薦してもらったところ、素晴らしいポイントがたくさん出てきて嬉しくなりました。

千葉 僕は建物に引かれます。商店街には昭和の香り漂うおもしろい建物がたくさん残っていますし、旧甲州街道沿いの家並みには、宿場町だった頃の面影が今も感じられます。また、穴山や円野辺りに行くと、古くからの由緒ある民家や寺社仏閣、お蔵なんかが見え、いま残っている。あまり注目されませんが、僕にとっては財宝のようです。

内藤 由緒ある建物と言えば、県外の方から葦崎にはパワースポットがたくさんあると教えてもらい、その一つ、穴山の穂見神社へ行ってみたくて。私は元来そういった類のことは信じない質なのですが、すごいパワーを感じましたね、これも一つの地域資源だと。さらに、我々が気づいていない魅力がまだまだあるんじゃないか、それを発掘していくことも大事な仕事だと思いました。

千葉 人と人とのつながりも強いんですよね。そして温かい。僕は市外出身ですが、葦崎高校のOBというだけで、初対面の先輩や後輩、地域の皆さんが応援してくれ、背中を押してくれます。それが大きな力になっています。

内藤 葦崎の人間の持つパワーは、間



違いなく魅力の一つですね。財界人、教育者、芸術家など、多くの偉人がいますし、現在は、千葉さんのような若い世代を中心に新しい動きがどんどん出てきていて頼もしい限りです。

アメリカヤから商店街へつながる思い、広がる輪

内藤 近年の大きな動きとしては、二コリのオープンがあります。スーパリーの撤退で廃墟になりかけた建物をリノベーションし、図書館や子育て支援センターなど多様な機能を持つ公共的な施設として蘇らせた。おかげ様で多くの方に携わって頂き、さまざまな催し物も頻繁に開催されていて、1日平均1300〜1400人が利用しています。今後はさらに発展させるため、館内のソフトを断続的に動かし、充実させていきたいと考えています。

千葉 以前は建物単位でしか考えなかったのですが、最近はどうも少し広い範囲を意識するようになってきました。具体的には、アメリカヤの向かい側にある昭和感あふれる長屋を「アメリカヤ横丁」として9月にオープンします。また、長らく空き店舗になっていた「茶

特集2 内藤市長まちづくり対談

一人ひとりが輝けるまちへ

まちなか活性に挑む内藤市長と、アメリカヤのリノベーションを通じて中央商店街を盛り上げようと奮闘中の千葉健司さんが、葦崎の魅力とまちづくりについて語り合いました。

アメリカヤ

1967年に建てられた5階建てビル。葦崎のランドマークとして愛され、1階は食堂と土産物店、2階は喫茶店、4〜5階は旅館として営業していたが、創業者の死去に伴い2003年に閉鎖。以後15年間廃墟となっていた。2018年4月、カフェやショップ、オフィス、イベントスペースが入った複合施設として蘇り、若者文化の発信地ともなっている。



千葉 健司 さん

一級建築士 株式会社アトリエいるは代表
葦崎高校出身。15年間空き家になっていたアメリカヤをリノベーションし、2018年4月に新装オープン。自らもアメリカヤに拠点を移し、建築、リノベーション、まちづくりなど精力的に活動している。

対談の様子は
こちらから
ご覧いただけます



※この対談は2019年5月15日に行ったものです。

舗」もゲストハウスに生まれ変わるこ
とが決まりました。こうした取り組み
を通して中央商店街全体を盛り立て
ていけたらと思います、ワクワクしながら活
動しています。

内藤 千葉さんは、隣接する駐車場でイ
ベントも開催されているんですね？

千葉 はい。オープン当初から様子を
見守ってくれていた地主さんから、「韮
崎を盛り上げる一助になれば」と貸し
て頂いた土地なので、駐車場だけじゃ
もったいないなと思います、呼びかけたこ
ろ、たくさん仲間が集まってくれま
した。そこで、彼らと毎月夜市を開催
しています。多くの方に来て頂いてい
るので、今後は、そのお客さんが終了後に
商店街で飲食を楽しむというような
流れが作れたらいいなと思っています。

内藤 共鳴ですよ。いいことには、誰
もが応援したくなったり参加したく
なったりする。同じ思いを持った仲間
も集まってくる。アメリカカヤは、今や商
店街の一つの核になりつつあるわけ
で、千葉さんの存在は非常に大きいと
思いますね。

我々行政としては、ニコリとアメリ



カヤというせっかくできた2つの点を
線でつないで、さらに面へと広げてい
きたい。そうやって賑わいを作り出す
ということを目指していきたいと思
います。

千葉 おもしろいですね。実現されれ
ば、日常的な人の流れが期待できま
すし、イベントの可能性も広がり、夢が膨
らみます。

チーム韮崎で臨むまちづくり

内藤 人間にとって何が幸せかと考
えたとき、生きがいややりがいってす
ごく大きいと思うんですよ。だから、韮
崎を、住む人、活動されている人、その
すべてが老若男女に関わらず自分のス
テージを持って活躍できるまちにし
ていくことが大事なのではないかと思
っています。そしてそのために、ボラン
ティアでもいい、生涯学習でもいい、何
らかの形で市民の皆さんにも関わって
もらい、できることから一緒に頑張っ
ていきましょうと。

千葉 「チーム韮崎」で取り組むまちづ
くりですね。

内藤 はい。さらに、先人が大事
にしてきたものを受け継ぎ、新た
な息吹を入れて未来へとつない
でいくということもまた、私たち
に課せられた重要な使命です。伝
統と革新、その調整をうまくとり
ながら、教育、福祉、災害対策、活躍
の場の創出など、目の前にある課
題に真摯に取り組んで、誰もが幸
せに暮らせる、小さくても元気な
まちを作っていきたい。平坦な道
ではありませんが、韮崎市民の力
を信じて共に歩みを進めてい
くと思います。

